

まだまだあるよ！おすすめ本

- **あめだま**
Eアメ 新美 南吉/作, 保坂 重政/編, 長野ヒデ子/絵
(につけん教育出版社)
- **にひきのかえる**
Eニヒ 新美 南吉/作, 鈴木 靖将/絵 (新樹社)
- **狐**
Eキツ 新美 南吉/作, 長野 ヒデ子/絵 (偕成社)
- **のら犬**
Eノラ 新美 南吉/作, 鶴田 陽子/絵 (大日本図書)
- **でんでんむしのかなしみ**
Eデン 新美 南吉/作, 保坂 重政/編, 井上 ゆかり/絵
(につけん教育出版社)
- **子どものすきな神さま**
Eコト 新美 南吉/作, 渡辺 洋二/絵
(につけん教育出版社)
- **あかいろうそく**
Eアカ 新美 南吉/作, 鈴木 寿雄/絵 (フレーベル館)
- **里の春、山の春**
Eサト 新美 南吉/作, 石倉 欣二/絵
(につけん教育出版社)
- **おじいさんのランプ**
913ニ 新美 南吉/著, 棟方 志功/画
(日本図書センター)
- **花のき村と盗人たち**
913ニ 新美 南吉/作, 長野 ヒデ子/絵 (小峰書店)
- **新美南吉童話集**
913ニ 新美 南吉/著, 鬼頭 りつ子・北川 幸比古/責任編集
(世界文化社)



子ども読書のまち いちのみや

新美 南吉の本

新美 南吉(にいみ なんきち)1913年～1943年
 どうわ さっか しじん
 童話作家, 詩人。愛知県半田市に生まれました。
 大学生のとき『ごんぎつね』を^{はっぴょう}発表し、その後は、
 こきょう きょうし さくひん か
 故郷で教師をしながら作品を書きました。



一宮市立中央図書館

2014. 10

新美南吉の絵本



木の祭り

野原にぽつんと立っている木に、白い花がいっぱい咲き、においをかいだちょうたちは、木のために祭りをしようと、とんで行きます。小川のふちで休んでいたしじみちょうは、みたことのない虫に気がつき…。

Eキノ

新美 南吉/作, 保坂 重政/編, 司 修/絵 (につけん教育出版社)



かにのしょうばい

かにがお店をはじめました。でも、お客がだれも来ません。お客さんをさがしに海にやってきて、たこに会います。

Eカニ

新美 南吉/作, 山口 マオ/絵 (鈴木出版)

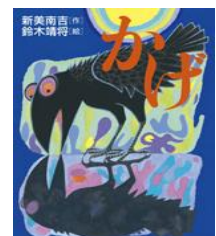


がちょうのたんじょうび

がちょうさんのたんじょうびかいにまねかれた、いたちさん。今日はあることをがまんできるでしょうか。

Eカチ

新美 南吉/作, 黒井 健/絵 (につけん教育出版社)



かげ

からすは、月の光にうつし出された自分のかげときょうそうをしました。からすは、負けそうになってきたので、ひししにとびます。すると、かげもどんどん早く走って…。

Eカケ

新美 南吉/作, 鈴木 靖将/絵 (新樹社)

教科書にのっているおはなし

ごんぎつね



Eコン

新美 南吉/作, 柿本 幸造/絵 (講談社)

てぶくろをかいに



Eテフ

新美 南吉/作, いもと ようこ/絵 (金の星社)

親のいないきつね「ごん」は、村へ出てきてはいたずらばかりしていました。ある日、兵十が病気のお母さんのためにつかまえた、うなぎをとってしまいます。

冬のある夜、きつねの親子は子ぎつねのための手ぶくろをかいに、町にむかいます。ひとりで手ぶくろ買いに行くことになった子ぎつねは…。

新美南吉を知ろう！

新美南吉ものがたり



910/ク

「ごん狐」「手袋を買いに」などの童話作家、新美南吉。

生い立ちから文学への道を志した少年時代、
高等女学校での教師生活、童話を書き続け29歳で
亡くなるまでの生涯を紹介します。

楠木 しげお/著, くまがい まちこ/絵 (銀の鈴社)

新美南吉の詩集

花をうかべて



911/二

みずみずしい詩情や美しいことば、童話作家・新美南吉がひそかにつむいだ詩のかずかず。

そっとページをめくってあじわってください。

新美 南吉/著, 北川 幸比古/責任編集 (岩崎書店)